

2022年9月14日19:00~20:00
第3回 OICI 薬業連携セミナー

胃癌の薬物療法について

大阪国際がんセンター
薬局 鎌田 宏和

胃癌の治療



日経メディカルOncologyレポート

🔍 詳細をフォロー

エリアレビュー © ESMO2020・胃癌

ニボルマブ+化学療法で進行胃癌の1次治療が10 数年ぶりの進歩

CheckMate 649試験、ATTRACTION-4試験で主要評価項目を達成

Osaka International Cancer Institute

胃癌治療ガイドライン(2021年7月改訂)

1次治療

HER2(-)の場合
シスプラチン +S-1
or
+Cape(ゼローダ®)
オキサリプラチン+S-1
or
+Cape(ゼローダ®)
FOLFOX

HER2(+)の場合
HER2(-)の場合に
トラスツマブを上乗せ。
(FOLFOXは除く)

2次治療

MSI-Highの場合
ベムプロリズマブ
Weeklyバクリタキセル
+ラムシルマブ

MSI-High以外の場合
Weeklyバクリタキセル
+ラムシルマブ

3次治療

HER2(-)の場合
ニボルマブ
[AS-102(ロシニマブ®)]
イリノテカン

HER2(+)の場合
トラスツマブ デルクス
テカン(エンハーツ)

オレンジ色:内服薬

胃癌治療ガイドライン医師用2021年7月改訂 第6版

Osaka International Cancer Institute

胃癌ガイドライン変更点

<ガイドライン委員会のコメント>

HER2陰性の胃癌・胃食道接合部癌に対する一次治療において、CPS5以上の症例には、化学療法*+ニボルマブ併用を推奨する。CPS5未満の症例、もしくはPD-L1検査実施が不可能な場合は、全身状態や後治療への移行可能性などを考慮して、有効性とニボルマブ併用による副作用増加について十分説明を行った上で、化学療法単独の選択肢も含めて一次治療でのニボルマブ併用を検討することが望ましい。

*SOX療法、CapeOX療法、FOLFOX療法

進行再発胃癌のすべての患者さんに一次治療として免疫チェックポイント阻害薬(ICI)が考慮される。

CheckMate649 試験、ATTRACTION-4 試験の概要ならびに HER2 陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌/胃食道接合部癌の一次治療における化学療法とニボルマブ併用に関する胃癌学会ガイドライン委員会のコメント (2021年12月)

Osaka International Cancer Institute

トレーシングレポート(ICI)

<https://oici.jp/hospital/patient/yakkyoku/madoguchi/>

Osaka International Cancer Institute

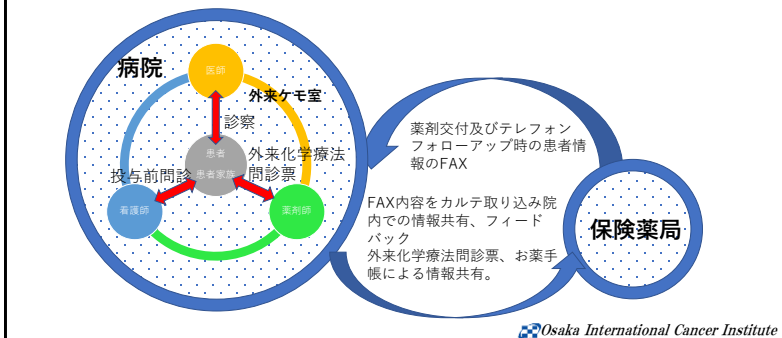
さいごに

- 胃癌の1次治療にICIの使用が開始された。
- ICIの治療期間、治療後の生存期間が延長され、irAEのモニタリングがより大切となる。
- 殺細胞性抗がん剤の副作用に加え、irAEのモニタリングは患者教育が大切



保険薬局での患者関与はますます重要

病院と保険薬局の連携



ご清聴ありがとうございました。